

令和5年度関東高等学校男子バスケットボール大会
兼 第77回関東高等学校男子バスケットボール選手権大会
＜Aブロック 1回戦＞

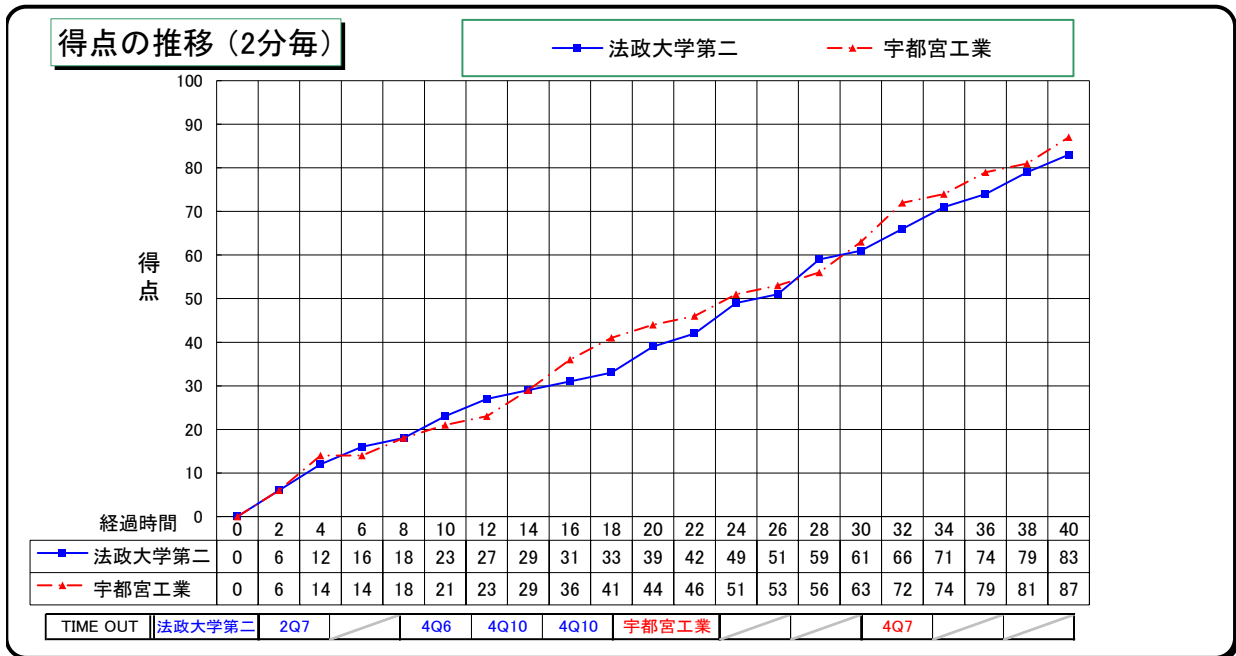
令和5年6月3日(土)	アダストリアみとアリーナ	大会1日目	Cコート	第4試合 13:30～
<チームA> 法政大学第二 神奈川		83 { 23 1Q 21 16 2Q 23 22 3Q 19 22 4Q 24 }		<チームB> 宇都宮工業 栃木

主審: 菊池 瑞昭(茨城) 第1副審: 大川 尚(千葉) 第2副審: 小神野 拓海(茨城)

S	No	選手名	得点	3P		2P		FT		F	リバウンド		アシスト
				成功	試投	成功	試投	成功	試投		OF	DF	
◎	4	境 碧空	11	1	5	3	5	2	2	4	4	2	4
◎	5	松本 大希			1		4			3	1	3	
○	6	浅沼 大地	17	3	6	4	5			2			
◎	7	西山 大貴	20			10	16			3	7	11	4
○	8	谷平 夏輝	3	1	1								
◎	9	小林 琉輝	6	2	2					2		1	
	10	町田 陣太											
	11	中根 優介											
◎	12	伊藤 舷人	19	5	14	2	2			3	1	3	
	13	石橋 仁提											
	14	大野 誠悟											
○	15	堀 太熙				1				2	1		
○	16	永田 真滉	2			1	1			1			
○	17	安喰 嗣恩										1	
○	18	堤 悠稀	5	1	4	1	3			2		3	1
		コーチ 鈴木 恭平											
合計			83	13	33	21	37	2	2	22	14	24	9

S	No	選手名	得点	3P		2P		FT		F	リバウンド		アシスト
				成功	試投	成功	試投	成功	試投		OF	DF	
◎	4	大谷 鴻太	17	3	11	1	4	6	7	2		3	3
◎	5	佐藤 壮流	17	4	9	1	5	3	4	4		1	3
◎	6	山川 大翔	14	3	5	2	6	1	5	1	1	1	
◎	7	石川 晃希	30		6	13	26	4	5	2	3	4	
◎	8	寺内 幸成	9			3	5	3	5	1	2	7	
	9	大里 知輝											
	10	田辺 真之介											
	11	櫻井 千尋											
	12	小平 陸斗											
	13	高野 莉玖											
	14	川邊 璃音											
	15	石川 優斗											
	16	富田 大翔											
	17	帯屋 潤太郎											
	18	佐藤 敦											
		コーチ 高崎 徹											
合計			87	10	31	20	46	17	26	10	6	16	6

◎:スターター / ○:出場 / 3P:3点シュート / 2P:2点シュート / FT:フリースロー / F:パーソナルファウル



戦評 記入者: 増澤 恵美

令和5年度関東高等学校男子Aブロック1回戦、法政大学第二(以下、法政)と宇都宮工業(以下、宇都宮)の試合。
 第1Q、法政はハーフコートマンツーマンディフェンス、宇都宮は2-2-1ゾーンプレスでスタート。法政はセンターポジションの#7西山をうまく使ってシュートチャンスを作り、#4境の3Pなどで点を重ねる。対する宇都宮は#5佐藤を起点とした早いパス回しでオフェンスを展開し、#6山川の3Pが立て続けに決まる。両者互角の戦い。23-21で第1Q終了。
 第2Q、お互いなかなかシュートが決まらないなかで、法政#18堤のジャンプシュートが決まり、試合が動く。法政が#6浅沼や#16永田のドリブルからのジャンプシュートなどで得点を続ける。一方、宇都宮は#7石川を中心に1対1をし続ける。法政は止めることが出来ず、ファウルがかさむ。宇都宮は確実にフリースローを決めていき、さらに#5佐藤の3Pや#7石川のリバウンドシュートで流れに乗る。31-36となったところで法政がタイムアウトを請求。再開後、宇都宮#4大谷が連続で得点するが、法政も#9小林や#8谷平の3Pで応戦。39-44で前半終了。
 第3Q、法政が3-2ゾーンディフェンスに切り替える。宇都宮はハンドオフからのドライブでディフェンスを崩しにかかる。激しいプレッシャーから速攻が出始めた法政が点差を縮め、#12伊藤の3Pで逆転。しかし、宇都宮もすかさず#4大谷が3P、#7石川がゴール下を決めて再び逆転。61-63で第3Q終了。
 第4Q、開始直後に法政#12伊藤が3Pを決める。宇都宮は慌てず、#7石川が積極的にインサイドの1対1を仕掛け、リズムを作る。宇都宮#4大谷の3Pが決まり、71-79と点差が離れ始めたところで、法政がタイムアウトを請求。再開後、法政#6浅沼が連続得点。2点差に迫られた宇都宮がタイムアウト。再開後、宇都宮の早いオフェンスに法政が続けてファウル。フリースローで少しずつ点差が離れていく。法政は2回タイムアウトを請求するが、セットプレーが決まらない。宇都宮はパスを回し時間を使いながら、ファウルをもらう。そのまま法政は追いつけず、83-87で試合終了。宇都宮が接戦を制し、1回戦を突破した。